

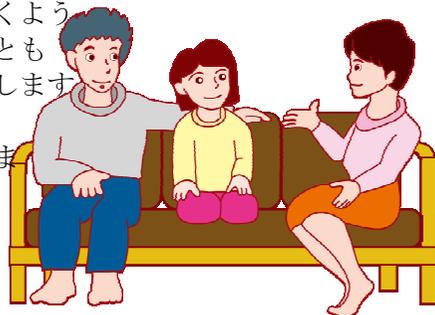


子供、そして、大人の言葉遣いを考える

桜で始まった1学期も梅雨がもう目の前に迫っています。1学期もそろそろ後半です。さて、子どもたちの言葉が乱れているということをよく耳にします。

「うるせー」「バカ」「マジ、ムカつく」、「ウザイ」「キモイ」「死ぬ」など、ぞっとするような言葉を聞くこともあります。大人の世界で聞くような「タメ口」もあります。テレビやゲームなどの影響だとも言われることもあります。もちろん学校でも厳しく指導しますし、家庭でもしっかり注意されていると思います。

でも子どもたちのこんな言葉遣いなくなる気配はあまり見えません。ではいったいどうしてこんな言葉遣いが出てしまうのでしょうか？理由のひとつに、自分とは違うタイプの他の子をけなすことで、自分の安定を図ることが考えられます。



この背景には子どもたちの仲間づくりの力が不足していることが考えられます。人は互いに違いがあって当たり前、自分が他人に受け入れられ、また自分も他人を受け入れることからコミュニケーションが始まるわけですが、そんな経験が不足しているのではないのでしょうか？子どもたちにそんな経験をさせてあげるのは私たち大人です。大人は、(特に教師は?)子どもに説教をしたがるものですが、まずは子どもの思いをしっかり聞き、その思いを持っている子ども自体をしっかり認めるところからスタートして、他の立場や見方・考え方をじっくり説明してあげることで、子どもの視野が広がっていくと考えます。

この積み重ねで、子どもの言葉遣いは他の人を慮(おもんばか)ったものとなってくるでしょう。



子どもの言葉遣いは、私たち大人のコミュニケーションの在り方を写しています。子どもの言葉遣いが気になったとき、私たち大人が普段使っている言葉を振り返ってみたいと思います。

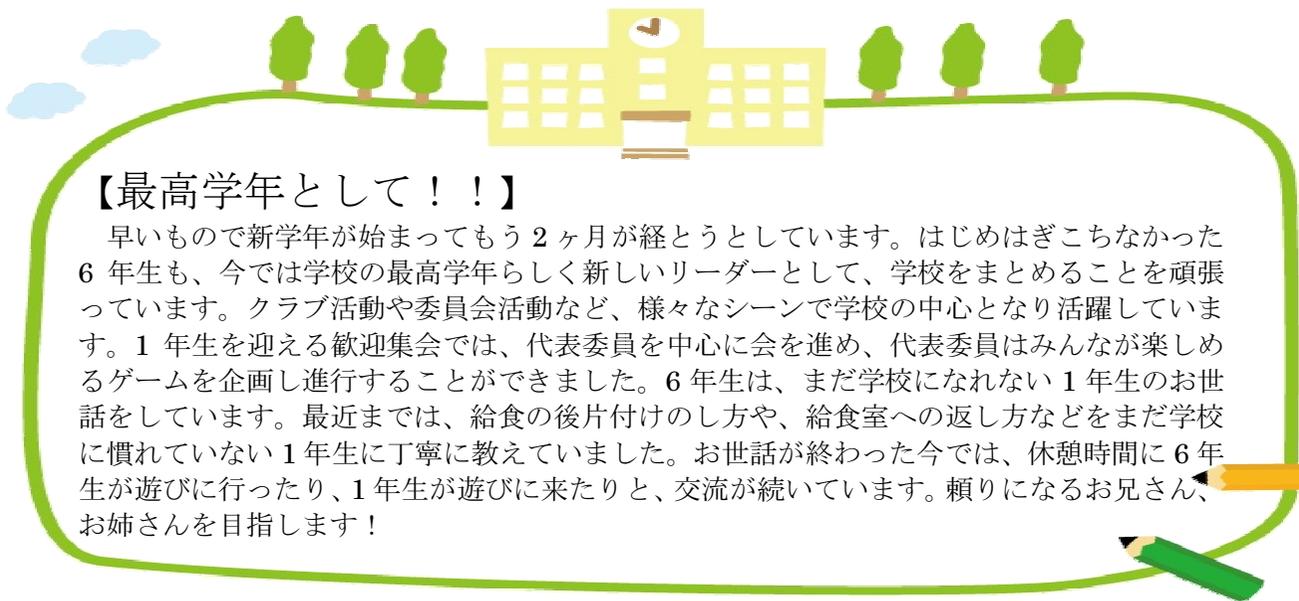
子どもたちには、おうちの人や学校の友達、先生だけではなく、是非いろいろな世代の方々と話す機会を得ることで、いろいろな見方・考え方に触れ、他の人への思いやりが生まれると考えます。地域の皆様には、子どもたちへのお声がけを是非宜しくお願いいたします。



5月から、学校であいさつ運動を始めました。

4・5・6年生が、交代で登校してきた子どもたちにあいさつをします。学校だけではなく、おうちや地域の皆さんとあいさつできるようになりたいですね。





【最高学年として！！】

早いもので新学年が始まってもう2ヶ月が経とうとしています。はじめはぎこちなかった6年生も、今では学校の最高学年らしく新しいリーダーとして、学校をまとめることを頑張っています。クラブ活動や委員会活動など、様々なシーンで学校の中心となり活躍しています。1年生を迎える歓迎集会では、代表委員を中心に会を進め、代表委員はみんなが楽しめるゲームを企画し進行することができました。6年生は、まだ学校になれない1年生のお世話をしています。最近までは、給食の後片付けのし方や、給食室への返し方などをまだ学校に慣れていない1年生に丁寧に教えていました。お世話が終わった今では、休憩時間に6年生が遊びに行ったり、1年生が遊びに来たりと、交流が続いています。頼りになるお兄さん、お姉さんを目指します！

日	曜		
2	月	セーフティネットの日	歯ピカ週間 ~6日
3	火	AED講習 15:40~体育館	
4	水	部別・学年別研修会	
5	木		健康貯金 ~9日
6	金	市民憲章校内締切日	
7	土		子どもセンター(剣道教室)
9	月	あいさつ運動(5年)	
10	火		
11	水	学校訪問(学校教育課)	
12	木	禁煙教育(4年)	
13	金	授業参観・学級懇談会・試食会	
14	土		子どもセンター(野球教室)
16	月	あいさつ運動(4年)	
17	火	禁煙教育(6年)	
18	水		
19	木	梅ジュースづくり・小中交流会	
20	金		
23	月		
24	火		
25	水	明和ブロック人権教育講演会	
26	木		
27	金		学年行事(6年生)
28	土	前期学校美術展(県民文化会館)	
29	日	前期学校美術展(県民文化会館)	
30	月	あいさつ運動(6年)	

【家庭数配布】